

7. 新入生魅力度調査・卒業予定者満足度調査報告

平成 24 年度からの新規事業として「新入生魅力度調査・卒業者満足度調査」を実施した。

なお、平成 27 年度より、卒業者満足度調査を卒業予定者満足度調査と呼び方を変更した。

以下に管理栄養学科以外の学科の設問を示す(魅力度調査の設問を示す。満足度調査の場合は「魅力を感じていますか」が「満足しましたか」になる。)

(1) 環境園芸学科の新入生魅力度調査

115 人からの回答が得られ、設問の種別ごとに纏めた。

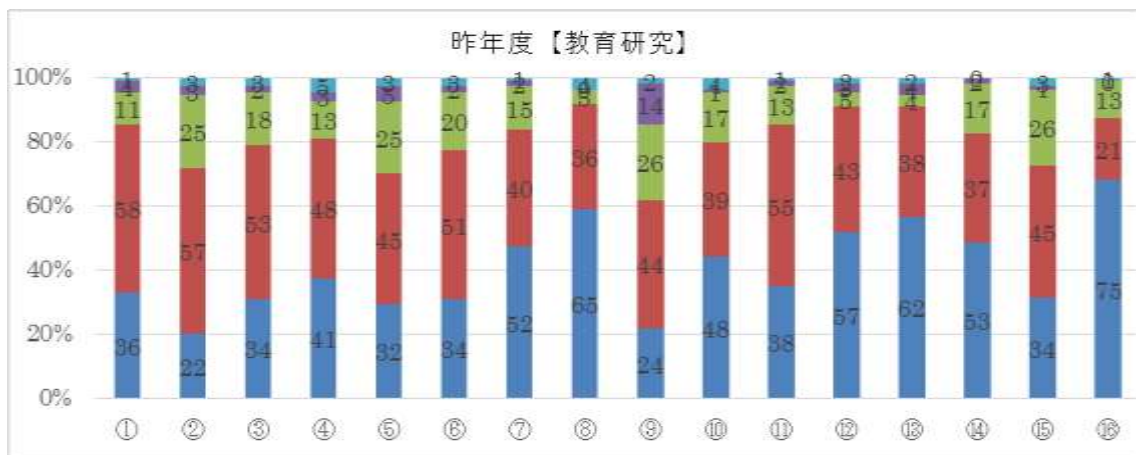
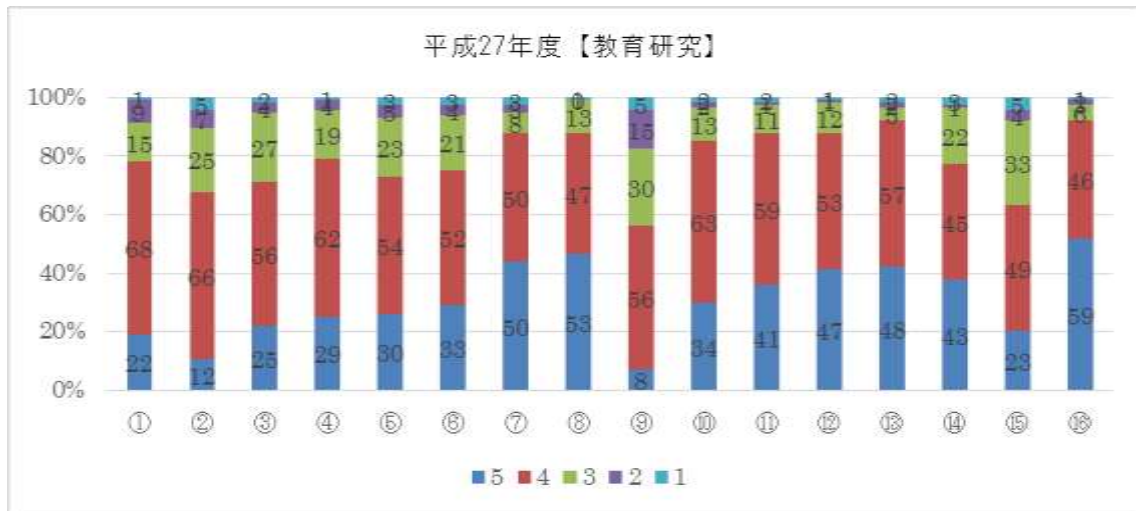
※ ちなみに設問によっては全員が回答しておらず、データから除外したため、設問の回答数の合計が 115 人にならない場合がある。

※ 5 段階 (5: 特に魅力を感じている 4: 多少魅力を感じている 3: どちらでもない 2: あまり魅力を感じない 1: まったく魅力を感じない) で評価している。

1. 教育研究について

【教育研究に対する設問】

- ① あなたは南九州大学の「豊かな自然と温和な気候に恵まれた南九州の環境」で勉学に励めることをどの程度魅力を感じていますか。
- ② あなたは南九州大学の「創造性に富み、人間性と社会性豊かな人間を育成する」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ③ あなたは南九州大学の「食・緑・人に関する基礎的、応用的研究をすすめ、専門的分野において社会に貢献寄与できる人材を育成している」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ④ あなたは南九州大学の「優れた教育研究業績をもつ、あるいは優れた現場経験をもつなど、高い能力を持った教員による教育を受けることができる」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑤ あなたは南九州大学の「優れた研究環境のもと最先端の研究ができる」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑥ あなたは環境園芸学科が、「環境」を基礎に置きつつ、「緑、食、人」をキーワードとして教育を行っていることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑦ あなたは環境園芸学科が、附属の実験施設やフィールドセンター等を活用した実学教育と少人数教育を行っていることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑧ あなたは環境園芸学科が、6つの専攻(園芸生産環境、植物バイオ・育種、花・ガーデニング、造園緑地、自然環境、アグリビジネス)を設けていることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑨ あなたは環境園芸学科が、1年次に人間性と社会性豊かな教養を身につけるための「教養教育科目」を設置していることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑩ あなたは環境園芸学科が、1年次に農学の分野の専門職業人として必要とされる基礎的な知識と技術を身につけるための「専門基礎科目」を設置していることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑪ あなたは環境園芸学科が、専門的な方法論と知識を体系的に学ぶために「専門教育科目」を設置していることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑫ あなたは環境園芸学科が、幅広い知識を身につけるために、自分が目指す専門分野を超えて関心のある科目を履修できるように「専門選択科目」を設置していることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑬ あなたは環境園芸学科が、講義に加えて、演習や実験、実習の専門授業を数多く設置していることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑭ あなたは環境園芸学科が、3年次後期に全員の研究室配属を行い、身につけた知識や技術を駆使して、新たな問題の探求能力や解決能力を養成するカリキュラムを取っていることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑮ あなたは環境園芸学科が、4年次で卒業論文を学科の必須として、専門性を高めることとしていることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑯ あなたは環境園芸学科が、教員免許、学芸員免許、樹木医補、測量士補などの資格や免許の取得に対応した「専門選択科目」を設置していることにどの程度魅力を感じていますか。



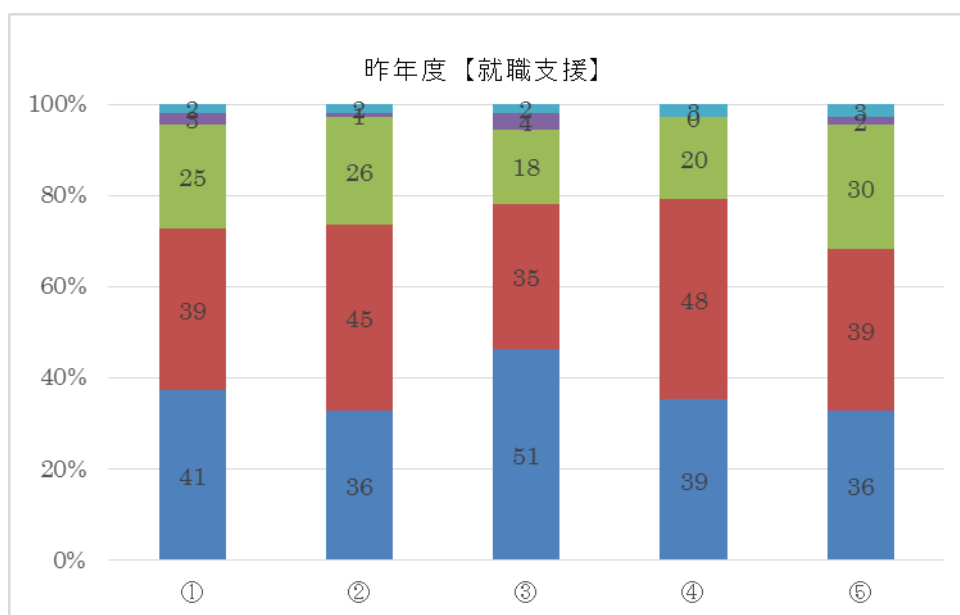
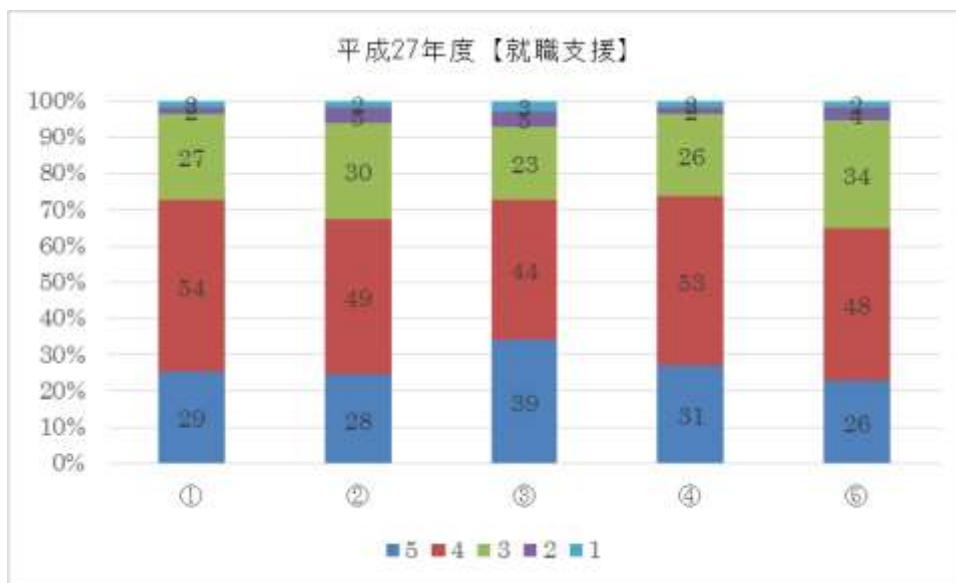
昨年度と同様の傾向であった。全体的にみると全ての設問で新入生のほぼ 6 割以上が魅力を感じていると答えており、本学ならびに環境園芸学科の教育研究理念やカリキュラムに受験生に対する一定の訴求力があり、新入生はそれに期待しているものと考えられる。

昨年度と同じく、全設問の中で設問⑨（教養教育科目の設置）が最も魅力度が低い。環境園芸概論など通し、入学後早い段階で新入生全員に教養教育科目の重要性・位置づけを理解させることも必要であると考えられる。

2. 就職支援について

【就職支援に対する質問】

- ① あなたは南九州大学の「就職課」があり、当該課の専門スタッフが就職活動支援をしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ② あなたは南九州大学の「将来の進路に関してのセミナー・ガイダンスや公務員・教員就職のための講座が充実している」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ③ あなたは南九州大学の「地元へのUターン就職に対して全力でサポートしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ④ あなたは南九州大学の「各学科に関連する業界の求人情報を多く扱っている」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑤ あなたは南九州大学の「インターンシップ制度が充実している」点にどの程度魅力を感じていますか。

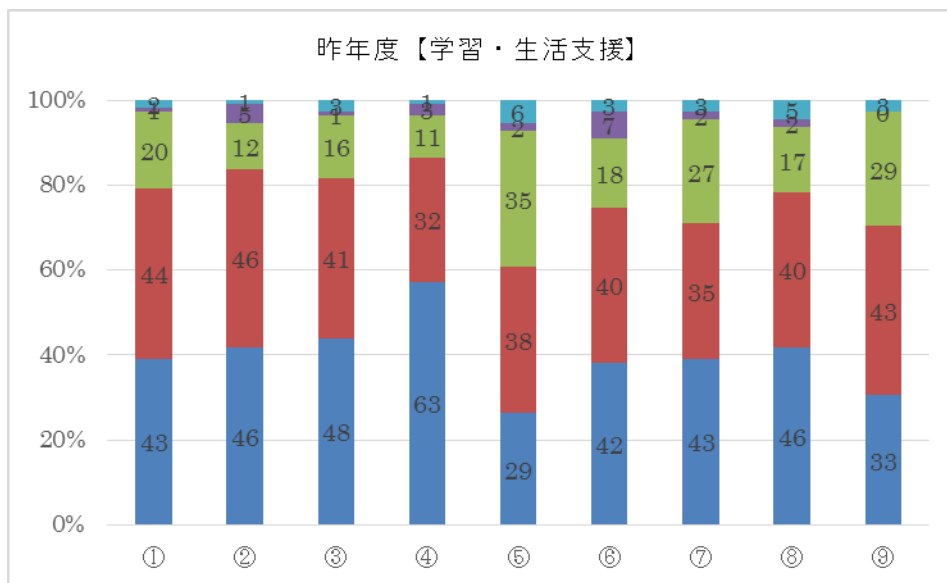
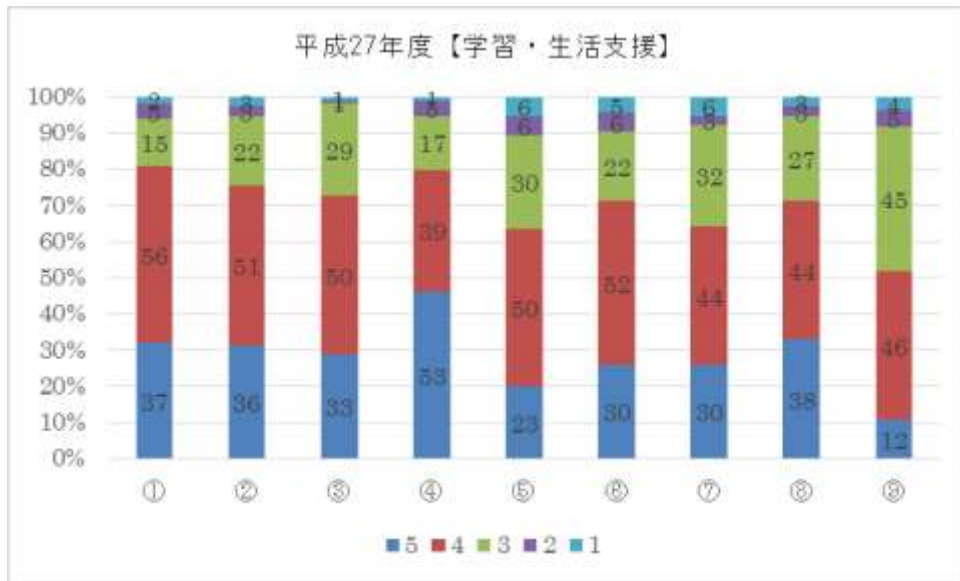


昨年度と同傾向であった。就職支援について新入生の6割以上が魅力を感じていると答えているが、現時点で具体的に就職活動は行っていないと考えられる。同じ年代の学生に対する調査ではないが卒業生満足度調査では、就職支援の不足傾向が結果として現れていることから、具体的にどのような支援が必要であるか調査・分析が必要であると思われる。

3. 学習・生活支援について

【学習・生活支援に対する質問】

- ① あなたは南九州大学の「学生支援課」があり、当該課の専門スタッフが学習支援(各種証明書発行・休講時連絡・アルバイト情報等)をしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ② あなたは南九州大学の「充実した蔵書・雑誌・新聞・視聴覚機器・閲覧スペース等のある図書館があり、学生の学習支援に役立っている」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ③ あなたは南九州大学の「保健室・学生相談室」があり、当該室の専門スタッフが怪我・体調不良の治療や体調管理等に関する相談、大学生活に関しての悩み相談をしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ④ あなたは南九州大学の「生協売店・生協食堂」があり、学生生活の支援充実をはかっている」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑤ あなたは南九州大学の「下宿生を対象にした充実した寮やマンション等の斡旋がある」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑥ あなたは南九州大学の「課外活動(部活動、校友会、学祭実行委員会等)が充実していて楽しく思い出に残る学生生活が送れる」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑦ あなたは南九州大学の「毎年有意義な学校行事(大学祭等)が行われている」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑧ あなたは南九州大学の「充実した奨学金・特待生制度がある」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑨ あなたは南九州大学の「各学年の教員による担任制度があり、学習支援・学生生活支援をしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。

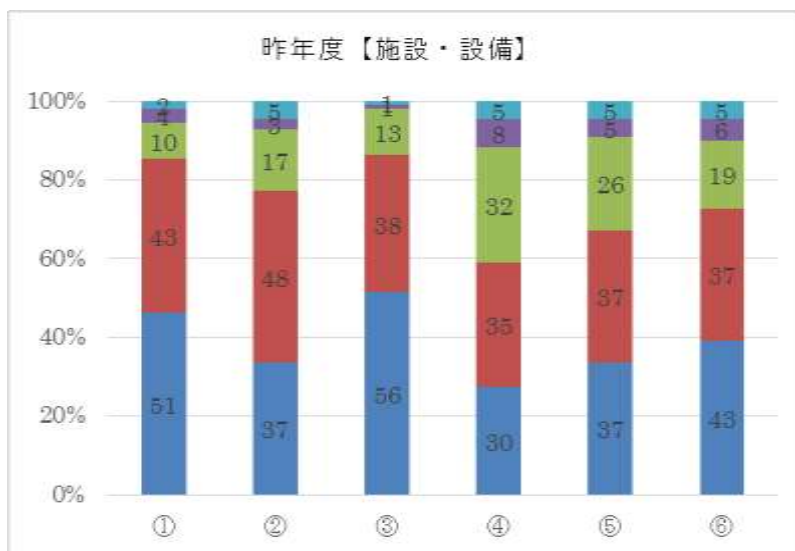
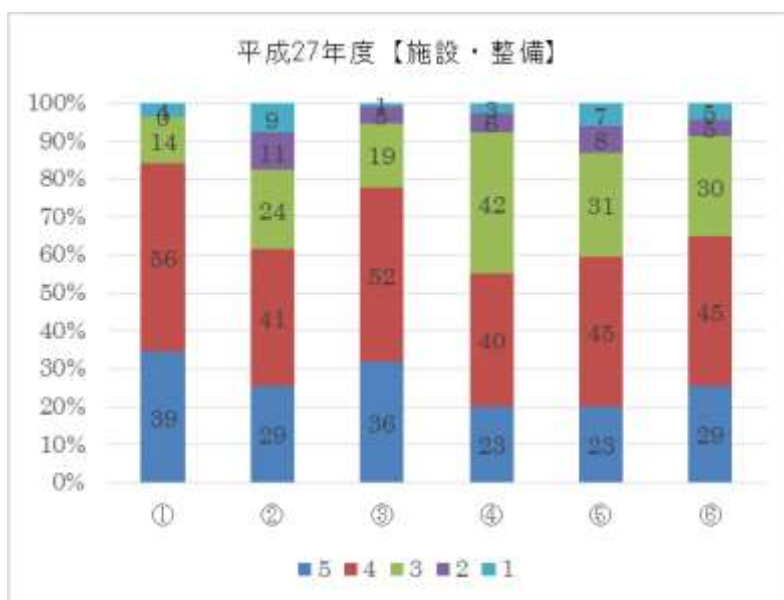


設問①～⑨で6割以上が魅力を感じており、一定の学習・生活支援に対する期待感が伺えられる。ただし今年度は、設問⑨「各学年の教員による担任制度があり、学習支援・学生生活支援をしてくれる」が最もポイントが低かった。担任制度の有効性が入学当時には理解されていないことがその原因の一つかもしれない。

4. 施設・設備について

【施設・設備に対する質問】

- ① あなたは南九州大学の「最先端の機器を導入した実験室や実際の現場を想定した実習室(フィールドセンターを含む)が整備されている」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ② あなたは南九州大学の「インターネット環境が充実し整っている(学内LANの充実、情報処理室の充実等)」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ③ あなたは南九州大学の「清潔で機能的で、また快適な校舎で学生生活が送れる」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ④ あなたは南九州大学の「通学に関して、スクールバスの運行や広い駐車場・駐輪場を有しており、通学に便利である」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑤ あなたは南九州大学の「体育館・グラウンドなどの運動施設やサークル活動の支援施設(クラブハウス)が充実している」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑥ あなたは南九州大学の「休憩時間中に過ごせる憩いの場(食堂・中庭・学生ラウンジ等)が充実している」点にどの程度魅力を感じていますか。



昨年度と全く同傾向であった。キャンパスの施設・設備についても概ね好印象を頂いていると思われる。

5. 全体を通して

全体として昨年度と結果はよく似ていた。大きな変化がない限り、この傾向は変わらないのかもしれない。

調査した各設問に対して、あまりあるいは全く魅力を感じないとの回答「1、2」は概ね1割前後であり、本学並びに本学科の教育研究、就職支援、学習・生活支援および施設・設備は新入生の多くに魅力あるものになっていることが示された。この高い魅力度を高い満足度に維持・向上に繋げる取り組みが重要であると思われる。

また、新入生（高校生）のニーズは変化するものと考えられることから、今後、時代に即した対応も必要であると考えられる。

(2) 環境園芸学科の卒業予定者満足度調査

75人からの回答が得られ、設問の種別ごとに纏めた。

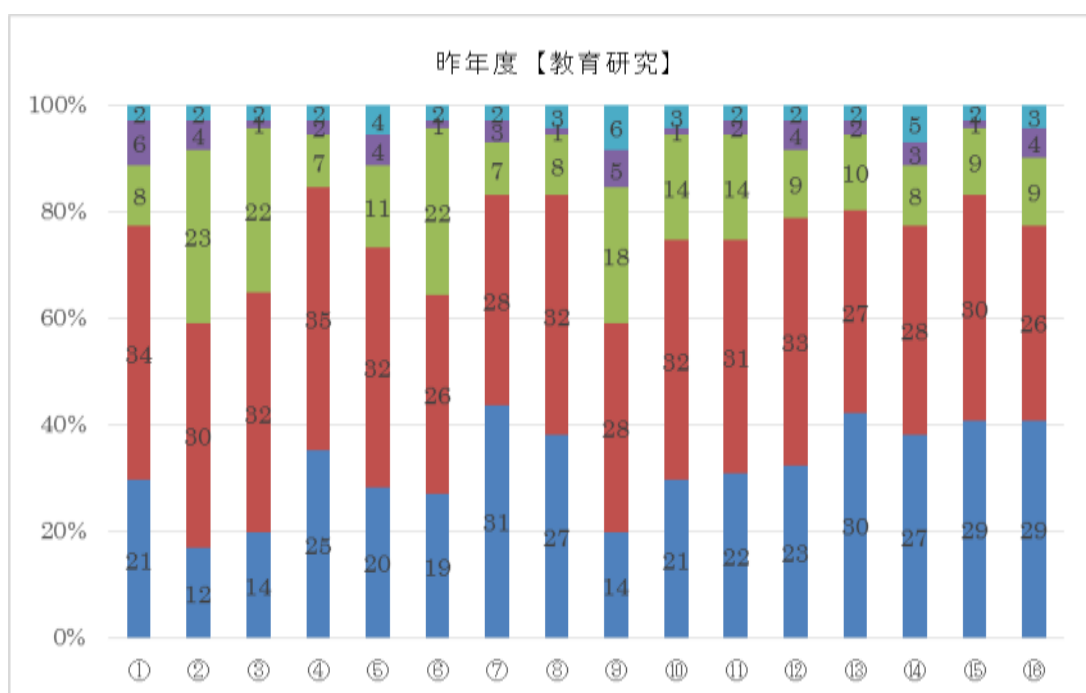
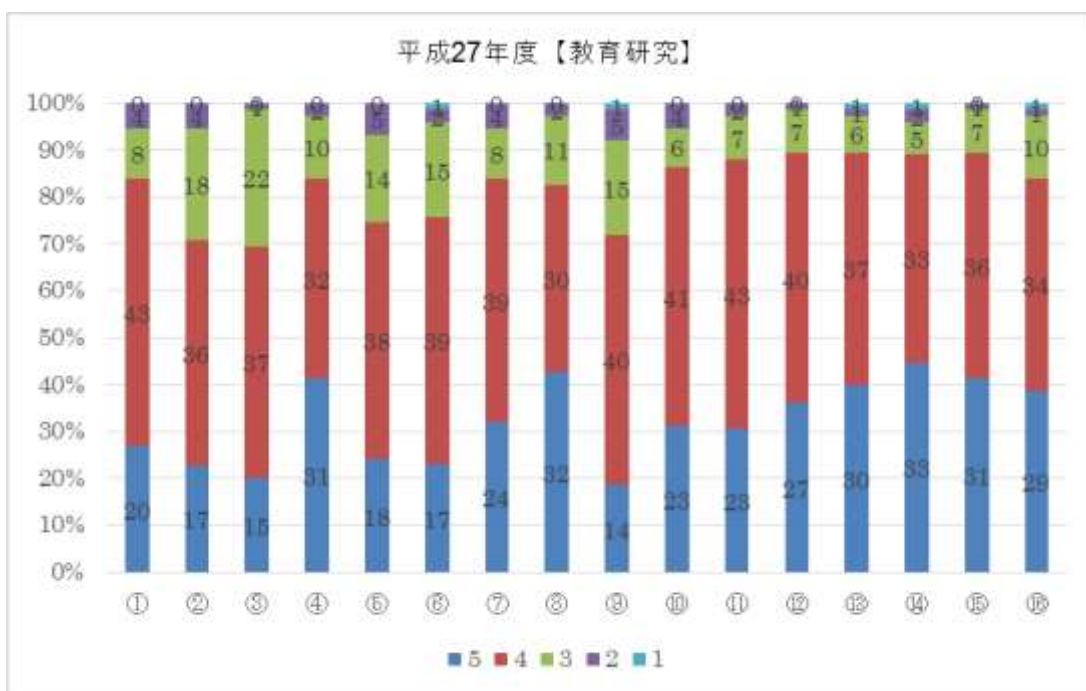
※ ちなみに設問によっては全員が回答しておらず、データから除外したため、設問の回答数の合計が71人にならない場合がある。

※ 5段階（5：特に満足している 4：多少満足している 3：どちらでもない 2：あまり満足していない 1：まったく満足していない）で評価している。

1. 教育研究について

【教育研究に対する設問】

- ① あなたは南九州大学の「豊かな自然と温和な気候に恵まれた南九州の環境」で勉学に励めることをどの程度満足しましたか。
- ② あなたは南九州大学の「創造性に富み、人間性と社会性豊かな人間を育成する」点にどの程度満足しましたか。
- ③ あなたは南九州大学の「食・緑・人に関する基礎的、応用的研究をすすめ、専門的分野において社会に貢献寄与できる人材を育成している」点にどの程度満足しましたか。
- ④ あなたは南九州大学の「優れた教育研究業績をもつ、あるいは優れた現場経験をも+A5/B6つなど、高い能力を持った教員による教育を受けることができる」点にどの程度満足しましたか。
- ⑤ あなたは南九州大学の「優れた研究環境のもと最先端の研究ができる」点にどの程度満足しましたか。
- ⑥ あなたは環境園芸学科が、「環境」を基礎に置きつつ、「緑、食、人」をキーワードとして教育を行っていることにどの程度満足しましたか。
- ⑦ あなたは環境園芸学科が、附属の実験施設やフィールドセンター等を活用した実学教育と少人数教育を行っていることにどの程度満足しましたか。
- ⑧ あなたは環境園芸学科が、6つの専攻（園芸生産環境、植物バイオ・育種、花・ガーデニング、造園緑地、自然環境、アグリビジネス）を設けていることにどの程度満足しましたか。
- ⑨ あなたは環境園芸学科が、1年次に人間性と社会性豊かな教養を身につけるための「教養教育科目」を設置していることにどの程度満足しましたか。
- ⑩ あなたは環境園芸学科が、1年次に農学の分野の専門職業人として必要とされる基礎的な知識と技術を身につけるための「専門基礎科目」を設置していることにどの程度満足しましたか。
- ⑪ あなたは環境園芸学科が、専門的な方法論と知識を体系的に学ぶために「専門教育科目」を設置していることにどの程度満足しましたか。
- ⑫ あなたは環境園芸学科が、幅広い知識を身につけるために、自分が目指す専門分野を超えて関心のある科目を履修できるように「専門選択科目」を設置していることにどの程度満足しましたか。
- ⑬ あなたは環境園芸学科が、講義に加えて、演習や実験、実習の専門授業を数多く設置していることにどの程度満足しましたか。
- ⑭ あなたは環境園芸学科が、3年次後期に全員の研究室配属を行い、身につけた知識や技術を駆使して、新たな問題の探求能力や解決能力を養成するカリキュラムを取っていることにどの程度満足しましたか。
- ⑮ あなたは環境園芸学科が、4年次で卒業論文を学科の必須として、専門性を高めることとしていることにどの程度満足しましたか。
- ⑯ あなたは環境園芸学科が、教員免許、学芸員免許、樹木医補、測量士補などの資格や免許の取得に対応した「専門選択科目」を設置していることにどの程度満足しましたか。



頻度分布グラフを見ると、16 設問すべての設問で、7 割以上の学生が満足（4 以上）と回答しており、満足していない（2 以下）と回答した学生は 1 割以下と減少し、昨年度を概ね上回る高評価となった。今年度、満足（4 以上）と回答した学生の割合が最も低かったのは、昨年度と同様に設問⑨『教養教育科目の設置』であったが、それでも 7 割以上の学生が満足（4 以上）と回答していた。

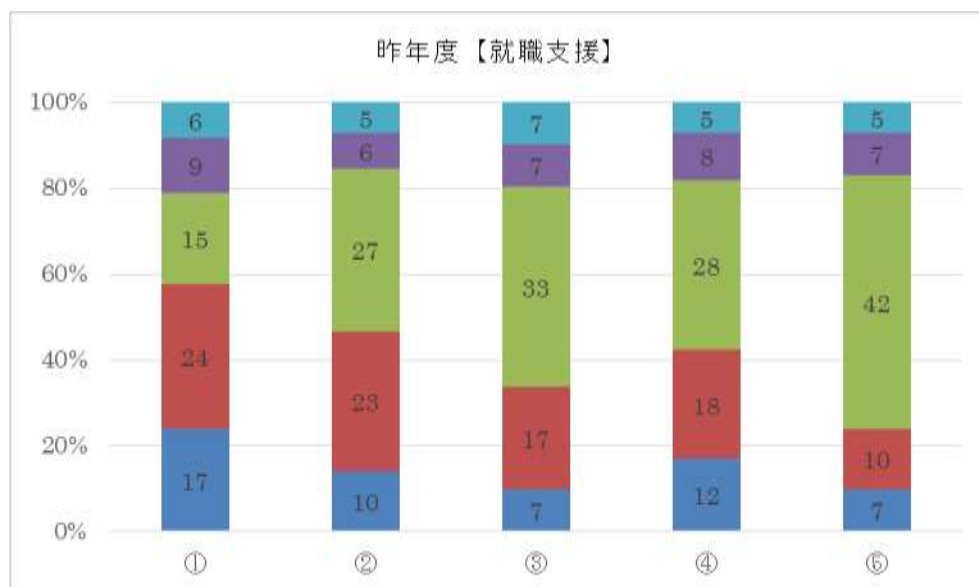
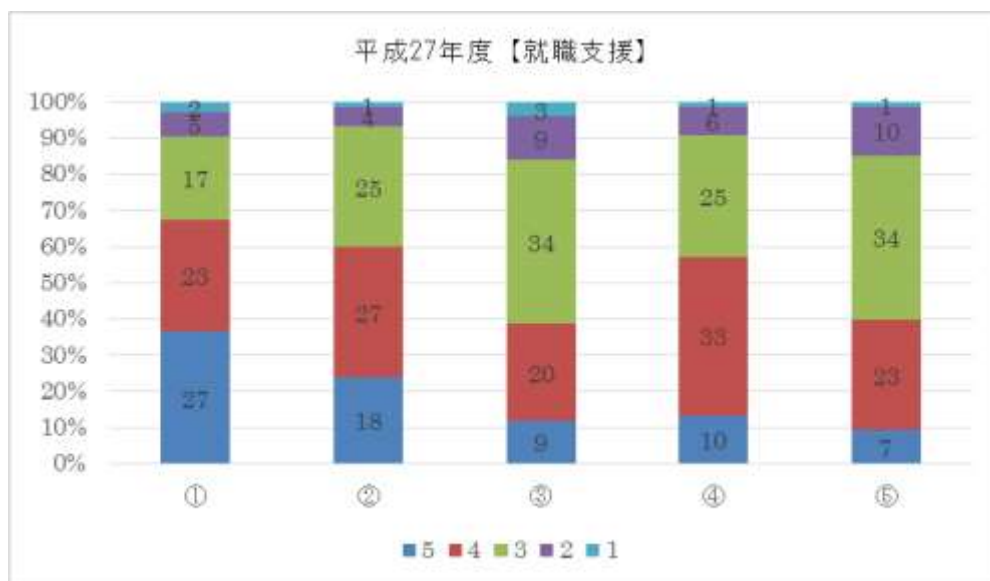
これらの結果から、本学科の学生は概ね満足（4 以上）しているものの、「教養教育科目」よりも「専門科目」に高い関心を持っていることが示唆された。それに関連する設問⑩～⑮では、満足（4 以上）と回答した学生が 9 割弱であり、昨年度よりも高い満足度が得られているように見え、この

傾向が強くなっていく可能性もある。今後、学生への「教養教育科目」の重要性の理解や在り方、「教養教育科目」と「専門教育科目」のバランス（専門の特化も含め）などについての検討が課題として考えられる。

2. 就職支援について

【就職支援に対する質問】

- ① あなたは南九州大学の「就職課」があり、当該課の専門スタッフが就職活動支援をしてくれる」点にどの程度満足しましたか。
- ② あなたは南九州大学の「将来の進路に関してのセミナー・ガイダンスや公務員・教員就職のための講座が充実している」点にどの程度満足しましたか。
- ③ あなたは南九州大学の「地元へのUターン就職に対して全力でサポートしてくれる」点にどの程度満足しましたか。
- ④ あなたは南九州大学の「各学科に関連する業界の求人情報を多く扱っている」点にどの程度満足しましたか。
- ⑤ あなたは南九州大学の「インターンシップ制度が充実している」点にどの程度満足しましたか。



昨年度より、設問①～⑤すべてで満足（4以上）と回答した割合が向上した。

設問①「就職課の就職活動支援」、設問②「就職のための講座」については6割以上が、設問④「求人情報の多さ」については5割が満足（4以上）した回答しており、まだまだ満足度の向上を検討していく必要はあるが、昨年度より今年度の方が就職課の支援や学科との連携が向上したことで、評価が上がったものと考えられる。

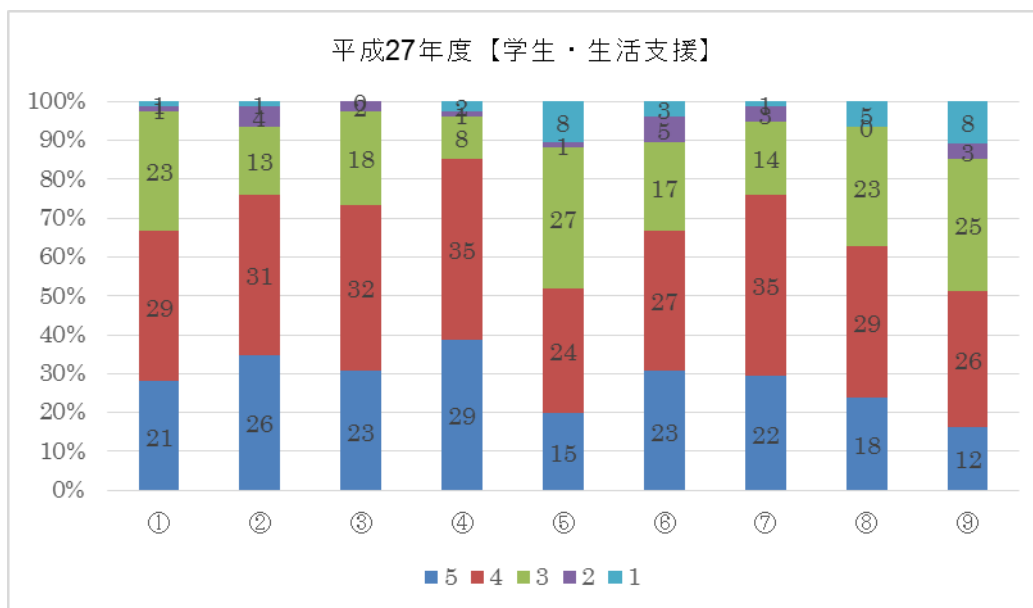
設問③「地元へのUターン就職」については、満足（4以上）が4割弱と低評価であるのは、本学科の学生は全国から集まっていること、地元へUターン就職しない学生が多いこと、学生の就職活動開始が遅いことなどが要因として考えられる。いずれにしても早期に地元へどのような就職先（企業・役場・団体など）があり、それらの求人や採用試験の情報収集と対応が重要であることを就職課と連携を取り学生に指導していく必要があると考えられる。

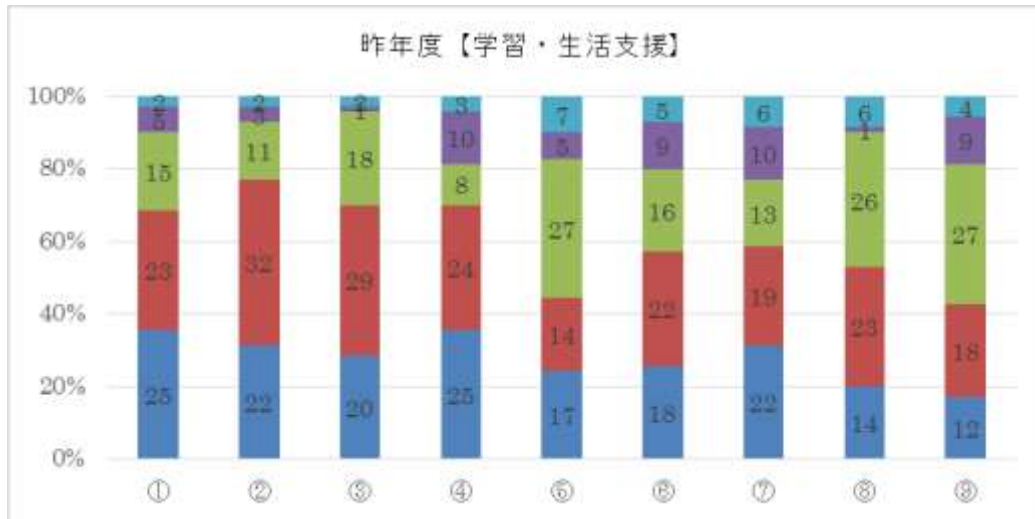
設問⑤『インターンシップ制度』については、満足（4以上）が4割と低い。そのため、さらに就職課および学科として充実を検討して、その内容・取組みについての学生へのさらなる周知が必要であると考えられる。

3. 学習・生活支援について

【学習・生活支援に対する質問】

- ① あなたは南九州大学の「学生支援課」があり、当該課の専門スタッフが学習支援（各種証明書発行・休講時連絡・アルバイト情報等）をしてくれる点にどの程度満足しましたか。
- ② あなたは南九州大学の「充実した蔵書・雑誌・新聞・視聴覚機器・閲覧スペース等のある図書館があり、学生の学習支援に役立っている点にどの程度満足しましたか。
- ③ あなたは南九州大学の「保健室・学生相談室」があり、当該室の専門スタッフが怪我・体調不良の治療や体調管理等に関する相談、大学生活に関する悩み相談をしてくれる点にどの程度満足しましたか。
- ④ あなたは南九州大学の「生協売店・生協食堂」があり、学生生活の支援充実をはかっている点にどの程度満足しましたか。
- ⑤ あなたは南九州大学の「下宿生を対象にした充実した寮やマンション等の斡旋がある点にどの程度満足しましたか。
- ⑥ あなたは南九州大学の「課外活動（部活動、学友会、学祭実行委員会等）が充実していて楽しく思い出に残る学生生活を送れる点にどの程度満足しましたか。
- ⑦ あなたは南九州大学の「毎年有意義な学校行事（大学祭等）が行われている点にどの程度満足しましたか。
- ⑧ あなたは南九州大学の「充実した奨学金・特待生制度がある点にどの程度満足しましたか。
- ⑨ あなたは南九州大学の「各学年の教員による担任制度があり、学習支援・学生生活支援をしてくれる点にどの程度満足しましたか。





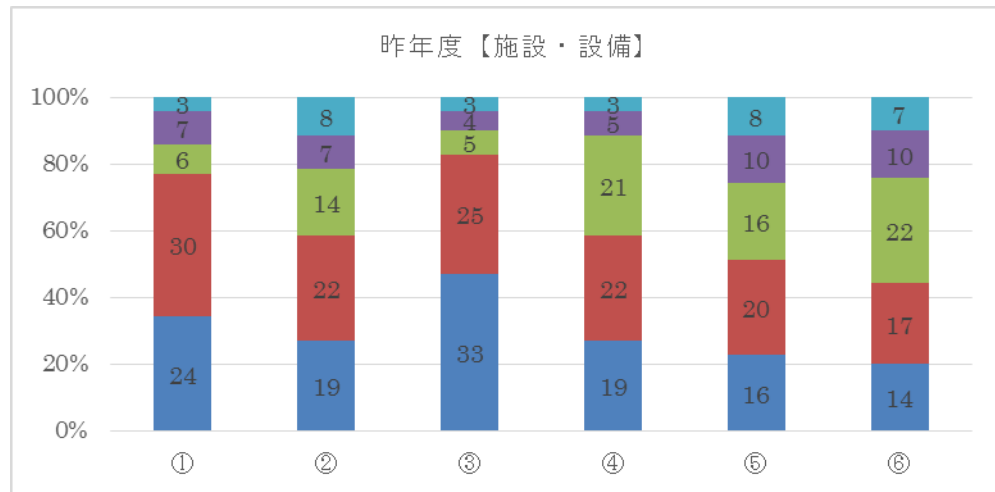
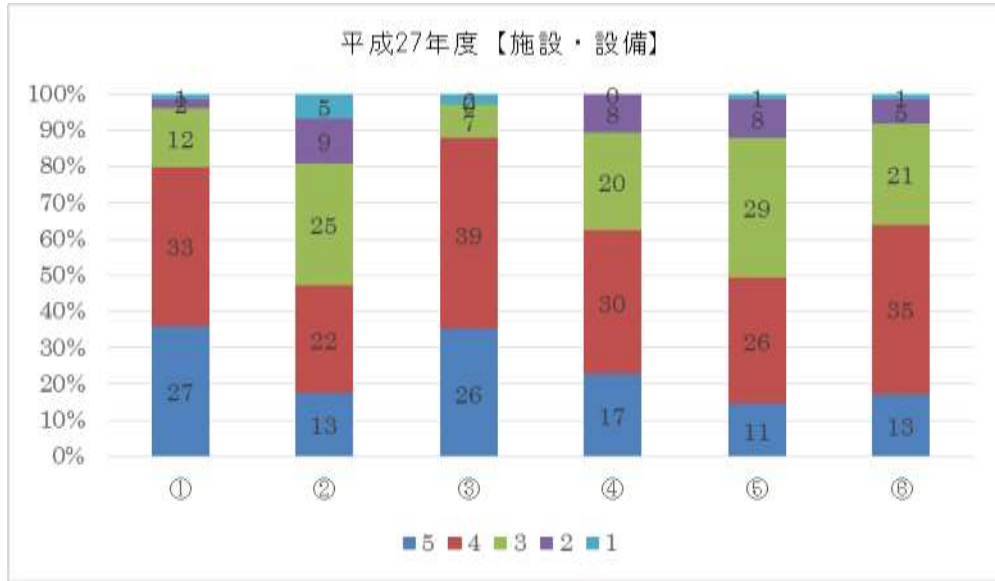
昨年度と比較して、設問②の満足（4以上）と回答した割合にほぼ変動がなかったが、その他の設問はすべて満足（4以上）と回答した割合が向上していた。内容として、8割以上が満足と回答したのは設問④「生協売店・食堂の充実」の1項目だけ、7割以上が満足と回答したのは設問②「学習施設」と設問③「保健室・学生相談室の充実」と設問⑦「有意義な学校行事」の3項目で、6割以上が満足と回答したのは設問①「学生支援の充実」と設問⑥「課外活動の充実」と設問⑧「奨学金・特待生制度の充実」の3項目であった。これらの項目は概ね高評価であるが、さらなる充実を図っていく必要がある。

その中で、設問⑤「下宿生を対象にした住居の斡旋」と設問⑨「担任制度」については、5割であり、対策を検討する必要がある。設問⑤では、下宿施設が近隣にない実態があり、全学的な問題として対策を検討していく必要がある。設問⑨については、本学科では3年前期までは学年ごとに4人の教員が、3年後期の研究室配属後はその研究室の教員が担任として指導に当たっているが、研究室配属後の教員を担任として考えて回答していない可能性があり、設問を修正することにより、満足度が上がる可能性がある。

4. 施設・設備について

【施設・設備に対する質問】

- ① あなたは南九州大学の「最先端の機器を導入した実験室や実際の現場を想定した実習室(フィールドセンターを含む)が整備されている」点にどの程度満足しましたか。
- ② あなたは南九州大学の「インターネット環境が充実している(学内LANの充実、情報処理室の充実等)」点にどの程度満足しましたか。
- ③ あなたは南九州大学の「清潔で機能的で、また快適な校舎で学生生活が送れる」点にどの程度満足しましたか。
- ④ あなたは南九州大学の「通学に関して、スクールバスの運行や広い駐車場・駐輪場を有しており、通学に便利である」点にどの程度満足しましたか。
- ⑤ あなたは南九州大学の「体育館・グラウンドなどの運動施設やサークル活動の支援施設(クラブハウス)が充実している」点にどの程度満足しましたか。
- ⑥ あなたは南九州大学の「休憩時間中にすそせる憩いの場(食堂・中庭・学生ラウンジ等)が充実している」点にどの程度満足しましたか。



昨年度と比較して、設問⑤の満足（4以上）と回答した割合にほぼ変動がなかったが、その他の設問はすべて満足（4以上）と回答した割合が向上していた。内容として、8割以上が満足と回答したのは設問①「研究・実習用の設備・環境」と設問③「快適な校舎」の2項目、6割以上が満足と回答したのは設問④「交通の便」と設問⑥「憩いの場」の2項目であった。これらの項目は概ね高評価であるが、さらなる充実を図っていく必要がある。

その中で、設問②「インターネット環境の充実」と設問⑤「運動施設・サークル活動の支援施設」については、5割であり、対策を検討する必要がある。ただし、この設問②と設問⑤については、全学的な問題として対策を検討していく必要がある。

(3) 管理栄養学科の新入生魅力度調査報告

【教育研究に対する質問】

- ・ 質問①から⑤までが「南九州大学」の教育研究の理念等に対する魅力度調査であり、質問⑥から⑩までが「管理栄養学科」の教育研究に対する魅力度調査であった。
- ・ 質問③から⑤の設問内容に対して、平均値が 3.94～4.25 となっていることから、南九州大学で学べる専門性あるいは最先端の研究に対して魅力を感じ期待を持って入学してきていることが分かった。
- ・ 管理栄養学科における教育研究に対する設問に対しては、すべて平均値が 4.0 以上となっていることから、「管理栄養学科」の教育研究に対する魅力度が高い傾向であることが分かった。その中で⑧と⑩の質問項目の数値が高かったことから、管理栄養学科で食や栄養に関する科目以外に特に「緑」にかかわる授業科目が設けられていることに魅力を感じていることが分かった。
- ・ 質問⑭においても平均値が 4.55 と高い数値であった。研究室配属、その後の卒業研究に興味を抱いていることが分かった。

【就職支援に対する質問】

- ・ 就職支援に対する魅力度については、全ての設問に対して平均値が 4.0 以上となっていることから、就職支援に対する南九州大学の体制が整っていることがうかがえる。
- ・ 質問③の質問で「Uターン就職」に関する質問があるが、管理栄養学科は宮崎県内出身者の多い学科であることから、「宮崎県内の地元就職に対する魅力度」について質問を設けてもいいかもしれない。

【学習・生活支援に対する質問】

- ・ 質問⑤、⑨以外で平均値が 4.0 以上となっていることから、南九州大学における学習・生活支援に対する体制やサポートに魅力を感じて入学してきていると考えられる。前年度と同じような傾向であり、学習・生活支援に対する体制やサポートが充実していると考えてよいと思われる。
- ・ 質問①の学生支援に関しての質問には魅力度が高く、同時に④の生協売店および生協食堂による生活支援に関して魅力度が高い傾向にあり、学内での生活に対して魅力があることが分かった。
- ・ 質問⑤についてはどちらでもないとの回答が最も多かった。管理栄養学科では地元宮崎県出身者が多いため、このような結果となったと考えられる。しかし、そのほかは 4 あるいは 5 の回答数が多いことから、他県からの学生は、比較的魅力があると感じていると思われる。

【施設・設備に対する質問】

- ・ 質問②以外で平均値がすべて 4.0 以上となっていることから、南九州大学における施設・設備におおむね魅力を感じていることが分かった。
- ・ 質問②では平均値が 3.86 と他の質問項目より低い数値となっていた。管理栄養学科でのインターネット環境の充実も必要かと思われる。

- ・ 管理栄養学科が設置されている宮崎キャンパスは開設 10 年と比較的新しいキャンパスであることから、質問①と③の質問で魅力度が高いことが分かった。また質問⑥でも数値が高くなっていることから、アリーナの建設により、「休憩時間中にすごせる憩いの場」が増えたことで魅力度が上がったことが考えられる。
- ・ 質問④では通学に関して、地元宮崎県出身の多い管理栄養学科の新生にとっては、駅と本学を結ぶスクールバスや車で通うための駐車場が完備しているところに魅力を感じていることが分かった。

【教育研究に対する質問】

- ・ 質問①から⑤までが「南九州大学」の教育研究の理念等に対する魅力度調査であり、質問⑥から⑩までが「管理栄養学科」の教育研究に対する魅力度調査であった。
- ・ 質問③から⑤の設問内容に対して、平均値が 3.9～4.0 となっていることから、南九州大学で学べる専門性あるいは最先端の研究に対して魅力を感じ期待を持って入学してきていることが分かった。
- ・ 管理栄養学科における教育研究に対する設問に対して、質問⑥以外はすべて平均値が 4.0 以上となっていることから、管理栄養学科に対する質問の方が魅力度の高い傾向であることが分かった。
- ・ 特に、質問⑧、⑩および⑭の「免許取得」や学科特有の科目に対して魅力を強く感じていることが分かった。
- ・ 質問②の大学の校風に関する質問については、「どちらでもない」が他の質問に比較して多く、まだ入学して間もない為、低い数値となったことが予想される。

【就職支援に対する質問】

- ・ 就職支援に対する魅力度については、全ての設問に対して平均値が 4.0 以上となっていることから、就職支援に対する南九州大学の体制が整っていることがうかがえる。
- ・ 質問③の質問で「Uターン就職」に関する質問があるが、管理栄養学科は宮崎県内出身者の多い学科であることから、「宮崎県内の地元就職に対する魅力度」について質問を設けてもいいかもしれない。

【学習・生活支援に対する質問】

- ・ 質問⑤、⑦、⑨以外で平均値が 4.0 以上となっていることから、南九州大学における学習・生活支援に対する体制やサポートに魅力を感じて入学してきていると考えられる。
- ・ 質問①の学生支援に関する質問には魅力度が高く、同時に④の生協売店および生協食堂による生活支援に関しては魅力度が高い傾向にあり、学内での生活することに対して魅力があることが分かった。
- ・ 質問③の保健室・学生相談室があり、専門スタッフが常置しているところに魅力を感じていることが分かった。
- ・ 地元宮崎県出身の多い(特に宮崎市周辺から)管理栄養学科の新生にとっては、質問⑤の下宿斡

旋に関しては、魅力が低かった。

【施設・設備に対する質問】

- ・ 質問内容にもよるが、施設・設備に対する質問に関しては、全体的に魅力を感じて入学してきている傾向があった。
 - ・ 管理栄養学科が設置されている宮崎キャンパスは開設10年と比較的新しいキャンパスであることから、質問①と③の質問で魅力度が高いことが分かった。
- 質問④では通学に関して、地元宮崎県出身の多い管理栄養学科の新生生にとっては、駅と本学を結ぶスクールバスや車で通うための駐車場が完備しているところに魅力を感じていることが分かった。

(4) 管理栄養学科の卒業予定者満足度調査報告

【教育研究に対する質問】

- ・ まず質問①の平均値が4.30であったことから、南九州大学の「豊かな自然と温和な気候に恵まれた南九州の環境」で勉学に励めたことに満足していることが分かった。
- ・ すべての質問で平均値が3.5以上であった。さらに質問②、⑤、⑨以外はすべて平均値が4.0以上となっていることから、南九州大学の教育研究に対して満足度が高いと感じていることが分かった。特に質問⑧、⑩で平均値が4.5以上となっていることから、管理栄養学科の「栄養士および管理栄養士国家試験受験資格を取得できる」点、カリキュラムの中に「臨地・校外学習」を組み込んでいる点に大いに満足していることが分かった。
- ・ 本年度の「国試対策」に対する満足度の質問⑭では平均値が4.36となっており、満足度が高い結果であった。次年度以降もこの数値を維持できるよう、更なる努力が必要であるが、この質問に対する平均値は学年によって差が出るのではないかとと思われる。
- ・ 「研究」等の質問である⑤の満足度よりも「技術を身につける」等の質問である④や⑩で平均値が高い理由として学生たちは人間教育・研究よりも技術習得に力を入れたいと考えており、満足度が上がっているのではないかと考えられる。

【就職支援に対する質問】

- ・ すべての質問項目において「多少満足している」と「どちらでもない」が高く、就職支援に対して満足度が低いことが分かった。管理栄養学科の場合は専門職であるため、多学科と就職活動の進め方が異なることから、このような結果になったと思われる。
- ・ 質問③は「どちらでもない」が半数以上を占めており、宮崎県内出身者が多いことが原因と考えられる。ただし、そのほかは4あるいは5の回答数が多いことから、他県からの学生は、比較的満足しているのではないかとと思われる。管理栄養学科では地元出身の学生が多いことから、今後は質問内容についても検討が必要と思われる。
- ・ 特に質問⑤で「どちらでもない」が半数以上を占めており、回答も分散していることから、本学科ではインターンシップ制度を殆ど利用していないため、このような結果となったと思われる。この質問に関しても今後は質問内容について検討が必要と思われる。

【学習・生活支援に対する質問】

- ・ 質問②の図書館、質問③の保健室・学生相談室、質問④の生協売店・生協食堂の学生生活の支援に対して、平均値が4.36～4.49であったことから、学生にとって学生生活を送るうえで、日頃よく利用する場については満足度の高いものであることが分かった。
- ・ 特に平均値が低かった質問項目は⑤で下宿の斡旋に関するものであったが、回答が「どちらでもない」が半数以上を占めており、このことが原因と考えられる。管理栄養学科では地元出身の学生が多いことから、今後は質問内容についても検討が必要と思われる。
- ・ その他の質問項目ではすべて平均値が3.50以上であったことから、おおむね満足していると思われる。

【施設・設備に対する質問】

- ・ すべての質問項目で平均値が3.83～4.70であったことから、南九州大学の施設・設備に対しておおむね満足していると思われる。特に質問③の平均値が4.70と高かったことから、「清潔で機能的で、また快適な校舎で学生生活が送れる」点に大いに満足していることが分かった。学生にとって清潔できれいな校舎は魅力度調査においても数値が高かったことから、今後も施設・設備の維持、充実に努めていく必要がある。

(5) 食品開発科学科の新入生魅力度調査・卒業予定者満足度調査報告

< 新入生魅力度調査結果 >

[教育研究に対する質問]

- ①あなたは南九州大学の「豊かな自然と温和な気候に恵まれた南九州の環境」で勉学に励めることをどの程度魅力を感じていますか。
- ②あなたは南九州大学の「創造性に富み、人間性と社会性豊かな人間を育成する」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ③あなたは南九州大学の「食・緑・人に関する基礎的、応用的研究をすすめ、専門的分野において社会に貢献寄与できる人材を育成している」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ④あなたは南九州大学の「優れた教育研究業績をもつ、あるいは優れた現場経験をもつなど、高い能力を持った教員による教育を受けることができる」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑤あなたは南九州大学の「優れた研究環境のもと最先端の研究ができる」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑥あなたは食品開発科学科が、食品製造者と消費者の両方の視点、および食に関する科学的知識と倫理を身につけた食品のスペシャリストを養成するための教育・研究を行っていることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑦あなたは食品開発科学科が、食品の開発・製造(美味しくつくること)に携わる専門家を育成するための教育研究を行っていることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑧あなたは食品開発科学科が、食品の適正利用(正しく食べること)の専門家を育成する目的で教育・研究

を行っていることにどの程度魅力を感じていますか。

⑨あなたは食品開発科学科が、食品の衛生（安全を守る）・機能性（体調調節）野専門家を育成するための教育・研究を行っていることにどの程度魅力を感じていますか。

⑩あなたは食品開発科学科が、講義に加えて、実験・実習・学外インターンシップなどの授業を多く設置し、実践的な能力を身につけるための教育を行っていることにどの程度魅力を感じていますか。

⑪あなたは食品開発科学科において、フードサイエンスの基礎科目から食品の衛生・機能性に関する基幹科目、食品の開発・製造および食品の適正利用に関する実学科目にいたるまで体系的に組まれたカリキュラムにしたがって履修できることに、どの程度魅力を感じていますか。

⑫あなたは食品開発科学科において、1～3 年時に学んだ食品開発および食品利用のあり方を集約して、4 年時に卒業論文、専攻演習に取り組むことができることにどの程度魅力を感じていますか。

⑬あなたは食品開発科学科において、食品衛生管理者・食品衛生監視員の資格を取得できることにどの程度魅力を感じていますか。

⑭あなたは食品開発科学科が、高等学校教諭 1 種（農業・理科）、中学校教諭 1 種（理）の資格を取得できることにどの程度魅力を感じていますか。

⑮あなたは食品開発科学科が、フードスペシャリスト、健康食品管理士を始め、ほかの食品関連資格を取得できることにどの程度魅力を感じていますか。

【教育研究に対する設問】		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
5	特に魅力を感じている	6	5	9	5	4	9	10	6	10	8	9	5	14	9	16
4	多少魅力を感じている	18	17	16	16	19	17	17	19	19	21	15	15	13	13	12
3	どちらでもない	9	11	10	10	11	9	8	9	6	7	11	16	10	12	8
2	あまり魅力を感じない	2	3	1	4	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1
1	まったく魅力を感じていない	3	2	2	3	2	2	2	3	3	2	2	2	1	4	1
	未回答											1				

設問①から⑮まで半数以上の学生が魅力を感じているという結果が得られ、学科の方向性は依然として適切であると言える。しかしながら、設問①から⑮まで「まったく魅力を感じていない」と回答した学生が少数（設問④では 11 名も）あり、何らかの改善が必要と思われる。

学科が勧める設問⑬「食品衛生管理者・食品衛生監視員の資格」、設問⑭「教職資格」、設問⑮「フードスペシャリスト、健康食品管理士を始め、ほかの食品関連資格」については半数以上の学生が魅力を感じているようで、学科の方針は適切と思われる。しかし、そうではない学生も少数ながらいるので、この点についても改善が必要と思われる。

[就職支援に対する質問]

- ①あなたは南九州大学の「“就職課”があり、当該課の専門スタッフが就職活動支援をしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ②あなたは南九州大学の「将来の進路に関してのセミナー・ガイダンスや公務員・教員就職のための講座が充実している」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ③あなたは南九州大学の「地元へのUターン就職に対して全力でサポートしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ④あなたは南九州大学の「各学科に関連する業界の求人情報を多く扱っている」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑤あなたは南九州大学の「インターンシップ制度が充実している」点にどの程度魅力を感じていますか。

【就職支援に対する質問】		①	②	③	④	⑤
5	特に魅力を感じている	11	10	7	8	5
4	多少魅力を感じている	17	18	16	15	19
3	どちらでもない	8	7	12	13	12
2	あまり魅力を感じない	0	1	0	0	0
1	まったく魅力を感じていない	2	2	2	2	2
	未回答					

半数以上の学生が「魅力を感じている」と回答しているので、責任をもって期待に応えられるようにする必要がある。また、「どちらでもない」以下の回答をした学生もかなり存在するので、この点に対しても原因の究明と改善が必要である。

[学習・生活支援に対する質問]

- ①あなたは南九州大学の「“学生支援課”があり、当該課の専門スタッフが学習支援(各種証明書発行・休講時連絡・アルバイト情報等)をしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ②あなたは南九州大学の「充実した蔵書・雑誌・新聞・視聴覚機器・閲覧スペース等のある図書館があり、学生の学習支援に役立っている」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ③あなたは南九州大学の「“保健室・学生相談室”があり、当該室の専門スタッフが怪我・体調不良の治療や体調管理等に関する相談、大学生活に関する悩み相談をしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ④あなたは南九州大学の「“生協売店・生協食堂”があり、学生生活の支援充実をはかっている」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑤あなたは南九州大学の「下宿生を対象にした充実した寮やマンション等の斡旋がある」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑥あなたは南九州大学の「課外活動(部活動、学友会、学祭実行委員会等)が充実していて楽しく思い出に残る学生生活を送れる」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑦あなたは南九州大学の「毎年有意義な学校行事(大学祭等)が行われている」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑧あなたは南九州大学の「充実した奨学金・特待生制度がある」点にどの程度魅力を感じていますか。

⑨あなたは南九州大学の「各学年の教員による担任制度があり、学習支援・学生生活支援をしてくれる」点
にどの程度魅力を感じていますか。

【学習・生活支援に対する質問】		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
5	特に魅力を感じている	10	9	10	11	5	6	7	5	5
4	多少魅力を感じている	16	15	14	16	11	16	19	15	16
3	どちらでもない	11	13	13	9	16	12	10	15	12
2	あまり魅力を感じない	0	0	0	0	2	1	1	0	2
1	まったく魅力を感じていない	1	1	1	2	4	2	1	3	3
	未回答						1			

半数以上の学生が「魅力を感じている」と回答しているので、期待に応えられるようにする必要がある。

また、「どちらでもない」以下の回答をした学生もかなり存在するので、この点に対しても原因究明と改善が必要である。

[施設・設備に対する質問]

①あなたは南九州大学の「最先端の機器を導入した実験室や実際の現場を想定した実習室(フィールドセンターを含む)が整備されている」点にどの程度魅力を感じていますか。

②あなたは南九州大学の「インターネット環境が充実し整っている(学内LANの充実、情報処理室の充実等)」点にどの程度魅力を感じていますか。

③あなたは南九州大学の「清潔で機能的で、また快適な校舎で学生生活が送れる」点にどの程度魅力を感じていますか。

④あなたは南九州大学の「通学に関して、スクールバスの運行や広い駐車場・駐輪場を有しており、通学に便利である」点にどの程度魅力を感じていますか。

⑤あなたは南九州大学の「体育館・グラウンドなどの運動施設やサークル活動の支援施設(クラブハウス)が充実している」点にどの程度魅力を感じていますか。

⑥あなたは南九州大学の「休憩時間中にすごせる憩いの場(食堂・中庭・学生ラウンジ等)が充実している」点にどの程度魅力を感じていますか。

【施設・設備に対する質問】		①	②	③	④	⑤	⑥
5	特に魅力を感じている	11	9	15	11	5	10
4	多少魅力を感じている	15	18	12	12	15	16
3	どちらでもない	9	8	8	10	13	8
2	あまり魅力を感じない	1	0	1	2	3	2
1	まったく魅力を感じていない	2	3	2	3	2	2
	未回答						

半数以上の学生が魅力を感じていると回答しており、ある程度期待に添えていると思われる。しかしながら、すべての項目に関して「どちらでもない」、「あまり魅力を感じない」、「まったく魅力を感じていない」という回答も見られたので、原因の究明と改善を行う必要がある。

<卒業生満足度調査結果>

[教育研究に対する設問]

- ①あなたは南九州大学の「豊かな自然と温和な気候に恵まれた南九州の環境」で勉学に励めることをどの程度満足しましたか。
- ②あなたは南九州大学の「創造性に富み、人間性と社会性豊かな人間を育成する」点にどの程度魅力を満足しましたか。
- ③あなたは南九州大学の「食・緑・人に関する基礎的、応用的研究をすすめ、専門的分野において社会に貢献寄与できる人材を育成している」点にどの程度満足しましたか。
- ④あなたは南九州大学の「優れた教育研究業績をもつ、あるいは優れた現場経験をもつなど、高い能力をもった教員による教育を受けることができる」点にどの程度満足しましたか。
- ⑤あなたは南九州大学の「優れた研究環境のもと最先端の研究ができる」点にどの程度満足しましたか。
- ⑥あなたは食品健康学科が、食品製造者と消費者の両方の視点、および食に関する科学的知識と倫理を身につけた食品のスペシャリストを養成するための教育・研究を行っていることにどの程度満足しましたか。
- ⑦あなたは食品健康学科が、食品の開発・製造(美味しくつくること)に携わる専門家を育成するための教育・研究を行っていることにどの程度満足しましたか。
- ⑧あなたは食品健康学科が、食品の適正利用(正しく食べること)の専門家を育成する目的で教育・研究を行っていることにどの程度満足しましたか。
- ⑨あなたは食品健康学科が、食品の衛生(安全を守る)・機能性(体調調節)の専門家を育成するための教育・研究を行っていることにどの程度満足しましたか。
- ⑩あなたは食品健康学科が、講義に加えて、実験・実習・学外インターンシップなどの授業を多く設置し、実践的能力を身につけるための教育を行っていることにどの程度満足しましたか。
- ⑪あなたは食品健康学科において、フードサイエンスの基礎科目から食品の衛生・機能性に関する基幹科目、食品の開発・製造および食品の適正利用に関する実学科目に至るまで体系的に組まれたカリキュラムに従って履修できることに、どの程度満足しましたか。
- ⑫あなたは食品健康学科において、1～3年次に学んだ食品開発および食品利用のあり方を集約して、4年次に卒業論文、専攻演習に取り組むことができることにどの程度満足しましたか。
- ⑬あなたは食品健康学科において、食品衛生管理者・食品衛生監視員の資格を取得できることにどの程度満足しましたか。
- ⑭あなたは食品健康学科において、高等学校教諭1種(農業・理科)、中学校教諭1種(理科)の資格を取得できることにどの程度満足しましたか。
- ⑮あなたは食品健康学科において、フードスペシャリスト、健康食品管理士を始め、他の食品関連資格を取得できることにどの程度満足しましたか。

【教育研究に対する設問】		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
5	特に満足している	4	1	3	2	2	2	2	3	2	2	2	0	2	1	2
4	多少満足している	6	7	2	3	2	3	5	4	5	5	4	6	4	1	6
3	どちらでもない	1	2	4	6	4	2	2	3	2	1	3	2	4	8	2
2	あまり満足していない	0	1	2	0	2	3	1	0	1	2	1	2	0	0	0
1	まったく満足していない	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	未回答						1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

* 回答数は 11。以下同じ。

設問①から⑮まで設問⑭を除いて大半の学生が満足している。教職に関連する設問⑭に対する評価が低い点を重視して、何らかの改善が必要と思われる。

[就職支援に対する設問]

- ①あなたは南九州大学の「“就職課”があり、当該課の専門スタッフが就職活動支援をしてくれる」点にどの程度満足しましたか。
- ②あなた南九州大学の「将来の進路に関してのセミナー・ガイダンスや公務員・教員就職のための講座が充実している」点にどの程度満足しましたか。
- ③あなたは南九州大学の「地元への U ターン就職に対して全力でサポートしてくれる」点にどの程度満足しましたか。
- ④あなたは南九州大学の「各学科に関連する業界の求人情報を多く扱っている」点にどの程度満足しましたか。
- ⑤あなたは南九州大学の「インターンシップ制度が充実している」点にどの程度満足しましたか。

【就職支援に対する設問】		①	②	③	④	⑤
5	特に満足している	2	2	1	1	1
4	多少満足している	5	3	4	5	3
3	どちらでもない	1	3	3	3	4
2	あまり満足していない	2	2	0	1	2
1	まったく満足していない	0	0	2	0	0
	未回答	1	1	1	1	1

設問①「あなたは南九州大学の「“就職課”があり、当該課の専門スタッフが就職活動支援をしてくれる」点にどの程度満足しましたか」について、「特に満足している」、「多少満足している」と回答した割合は 64%であり、まだ改善の余地があることが推測される。また、設問③「あなたは南九州大学の「地元への U ターン就職に対して全力でサポートしてくれる」点にどの程度満足しましたか」については、「特に満足している」が 9%であり、「多少満足している」が 36%であり、これも更なる改善の余地があることを示している。

[学習・生活支援に対する設問]

- ①あなたは南九州大学の「学生支援課」があり当該課の専門スタッフが学習支援(各種証明書発行・休講時連絡・アルバイト情報等)をしてくれる」点にどの程度満足しましたか。
- ②あなたは南九州大学の「充実した蔵書・雑誌・新聞・視聴覚機器・閲覧スペース等のある図書館があり、学生の学習支援に役立っている」点にどの程度満足しましたか。
- ③あなたは南九州大学の「保健室・学生相談室」があり、当該室の専門スタッフが怪我・体調不良の治療や体調管理等に関する相談、大学生活に関する悩み相談をしてくれる」点にどの程度満足しましたか。
- ④あなたは南九州大学の「生協売店・生協食堂」があり、学生生活の支援充実をはかっている」点にどの程度満足しましたか。
- ⑤あなたは南九州大学の「下宿生を対象にした充実した寮やマンション等の斡旋がある」点にどの程度満足しましたか。
- ⑥あなたは南九州大学の「課外活動(部活動, 学友会, 学祭実行委員会等)が充実していて楽しく思い出に残る学生生活を送れる」点にどの程度満足しましたか。
- ⑦あなたは南九州大学の「毎年有意義な学校行事(大学祭等)が行われている」点にどの程度満足しましたか。
- ⑧あなたは南九州大学の「充実した奨学金・特待生制度がある」点にどの程度満足しましたか。
- ⑨あなたは南九州大学の「各学年の教員による担任制度があり、学習支援・学生生活支援をしてくれる」点にどの程度満足しましたか。

【学習・生活支援に対する設問】		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
5	特に満足している	3	2	3	4	3	1	1	2	1
4	多少満足している	6	4	3	5	1	4	5	2	5
3	どちらでもない	2	4	5	1	7	3	3	6	3
2	あまり満足していない	0	1	0	1	0	3	2	1	1
1	まったく満足していない	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	未回答									

設問①から⑨まで大半の学生が満足を示しているが、特に設問①と④に対して、「特に満足している」、「多少満足している」と回答した割合は 82%であり、学生の満足度が高いことがうかがえる。しかし、設問⑤「あなたは南九州大学の「下宿生を対象にした充実した寮やマンションなどの斡旋がある」点にどの程度満足しましたか」に対しては、「特に満足している」が27%、「多少満足している」は9%、「どちらでもない」が64%もあり、改善の余地があることがうかがえる。奨学金や特待生制度に関する設問⑧についても満足しているのは 36%程なので、まだ改善の余地があると思われる。さらに、課外活動に関する設問⑥についても満足度が低いようなので改善が必要と思われる。

[施設・設備に対する設問]

- ①あなたは南九州大学の「最先端の機器を導入した実験室や実際の現場を想定した実習室(フィールドセンターを含む)が整備されている」点にどの程度満足しましたか。
- ②あなたは南九州大学の「インターネット環境が充実し整っている(学内 LAN の充実, 情報処理室の充実等)」点にどの程度満足しましたか。
- ③あなたは南九州大学の「清潔で機能的で, また快適な校舎で学生生活を送れる」点にどの程度満足しましたか。
- ④あなたは南九州大学の「通学に関して, スクールバスの運行や広い駐車・駐輪場を有しており, 通学に便利である」点にどの程度満足しましたか。
- ⑤あなたは南九州大学の「体育館・グラウンドなどの運動施設やサークル活動の支援施設(クラブハウス)が充実している」点にどの程度満足しましたか。
- ⑥あなたは南九州大学の「休憩時間中にすごせる憩いの場(食堂・中庭・学生ラウンジ等)が充実している」点にどの程度満足しましたか。

【施設・設備に対する設問】		①	②	③	④	⑤	⑥
5	特に満足している	3	2	6	4	3	2
4	多少満足している	5	5	3	3	2	6
3	どちらでもない	1	2	1	3	4	1
2	あまり満足していない	2	2	1	1	2	2
1	まったく満足していない	0	0	0	0	0	0

どの設問に対しても、「特に満足している」と「多少満足している」が 45%以上を占めており、施設・設備の充実度に対しておよそ半数の学生の満足度が高いことがうかがえる。ということは残りの学生の不満な点を洗い出す必要があるということにもなる。

(6) 子ども教育学科の新入生魅力度調査

(新入生84名が回答)

【教育研究に対する設問】

「特に魅力を感じている」のポイントの高い項目は、「附属の実験施設やフィールドセンター等を活用した実学教育」、次が「専門的な方法論と知識を体系的に学ぶ」、その次が「卒業論文を必須して専門性を高めること」、「『環境』を基礎に置きつつ、『食、緑、人を』をキーワードとして教育を行っていること」、「1年次に基礎的な知識や技術を身につけるための『専門教育科目を設置していること』であった。専門教育や実学教育に魅力を感じているようである。

【学習・生活支援に対する質問】

「特に魅力を感じている」のポイントの高い項目は、最も高かったのが「“生協売店・生協食堂”があり、学生生活の充実をはかっていること」、次が「充実した奨学金・特待生制度」で、「“学生

支援課”があり専門のスタッフが学習支援をしてくれること」、「“保健室・学生相談室”で…悩みの相談」の順であった。学生生活に密着している項目が総合的にみてポイントが高い。

【施設・設備に対する質問】

「特に魅力を感じている」のポイントの高い項目は、第1位が「清潔で機能的、快適な校舎」、次いで「スクールバスや駐車場」、「憩いの場（食堂・中庭・学生ラウンジ等）」と続く。建物自体が新しく、駐車スペース等十分な広さが確保されていることは学生にとって魅力的な環境だといえる。

【就職支援に対する質問】

「特に魅力を感じている」のポイントの高い項目は、「“就職課”があり、当該課の専門スタッフが就職活動支援をしてくれる」であるが、残り4項目も同程度でそれほど差がない。大学に入学して間もない時期ということもあり、就職支援を実感する機会が少ないためであろうと考えられる。

(7) 子ども教育学科の卒業予定者満足度調査

(卒業予定者58名が回答)

【教育研究に対する設問】

平均値が4.0ポイント以上の項目が15項目中3項目あり、最も高かったのが「三つの資格・免許を取得できること」、次が「連係学校園方式」、その次が「夢を叶える塾」であった。3.5以上には「ボランティア活動」、「『子どもの学び研究所』、『子育て支援センター』、『環境教育センター』という活動拠点がること」「4年間の学びを教員が細かにサポート」、「『子どもの心身』、『地域と子ども』、『自然環境』という特色に満足」、「南九州の環境」、「高い能力を持った教員」等があった。

【学習・生活支援に対する質問】

平均値が4.0ポイントの項目は、「充実した蔵書・雑誌・新聞・視聴機器・閲覧スペース等」、「“保健室・学生相談室”があり、体調管理や悩みの相談」であった。「生協売店・生協食堂」、「各学年の教員による担任制度」、「学生支援課があり当該課の専門スタッフが学習支援」等の平均点が高く、専門スタッフのサポート体制は学生が大学生活を送る上で心強いものとして実感されていると言える。

【施設・設備に対する質問】

平均値が最も高かったのは、「清潔で機能的、快適な校舎」で4.10であった。次いで「スクールバスの運行や広い駐車・駐輪場」である。「体育館・グラウンドなどの運動施設やサークル活動の支援施設」が3.53と高く、施設面で非常に満足しているといえる。

【就職支援に対する質問】

平均値が4.0ポイント以上の項目はなく、どの項目も3ポイント台であった。そうした中、「公務員・教員就職のための講座」、「就職課による支援」が比較的ポイントが高かった。

5 まとめと今後の課題

一昨年初めて、本学部としての卒業2期生を送り出し、学部開設から5年間の集大成ともいえる就職実績が統計的に示され、卒業生44名のうち、公立小学校教員及び地方公務員最終試験に合格した者5名を含む43名が就職する結果（就職率95.7%）となった。

また、昨年度は、卒業生47名うち、公立小学校教員及び地方公務員最終試験に合格した者9名を含む46名が就職する結果（就職率97.9%）となり、就職以外の1名も大学院への進学を決めるなど、前年度以上の好結果を示すこととなった。

しかし、この就職実績とは逆に、本年度実施した学生授業評価アンケート実施結果が、前期、後期ともに昨年度の結果を下回ったことは、大きな反省点といえる。教員各自が、授業改善のなかで改めて自身の授業の在り方を振り返り、創意工夫を重ねるとともに、アクティブ・ラーニングを目指した「学び方・教え方」に着目し、思考発信型授業へとイノベーションを起こす必要があると考える。

また、今後の課題として、教員の退職に伴って、専門分野に応じた新たな教員を迎え入れるなど、学部全体を見据えた教員の配置も含めて、教員相互の研究や教育内容について相互理解が深まるようにFD活動の時間の確保に努めていきたい。さらに、学生の教職志望に応じた学校種等の免許状選択を踏まえて、これまでの教育内容の成果と課題を改めて総括し、カリキュラムの改善等を検討していくなど、授業と教員との横断的な専門性のつながりを追求していきたいと考える。